地域に伝わる盆唄の継承について

受付日：令和8年9月11日　　回答日：令和8年9月24日

【ご意見の内容】

南方地区に伝わる盆唄「山崩し」と踊りについて高齢化等により継承者がなくなりつつあります。隠岐固有の文化として継承する術はないものでしょうか。

【回答】

現在、本町内では地区や集落ごとで盆踊りが行われ、その踊りや唄は地域ごとに様々な特徴があります。

また「山崩し」という盆唄も、近藤武氏の『隠岐の民謡』（1984年）で取り上げられ、古くから、それぞれの地区の特色をもって伝えられてきたものであり、同様に「南方地区の山崩し」についても、南方地区固有の貴重な盆唄であると承知しております。

この夏に行われた、南方地区での盆踊りの状況を伺ったところ、事前の練習から取り組まれ、当日も100人前後の参加があったと伺いました。

その盛況ぶりに驚くとともに、貴重な文化財の保存継承に取り組む、地域の方々のご尽力に対し、深く敬意を表するところであります。

本町といたしましては、各地域に伝わる貴重な文化財を将来につなげていけるよう、今後とも、その調査や保存に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

また、盆踊りをはじめとする各地域で繋がれてきた固有の文化財につきましては、第一にその地域で大切に守られ伝えられることで、その特色も保てるものと考えております。

ぜひ、現状を維持していただき、永く貴重な伝統を引き継いでいただくとともに、本町といたしましても、地域住民の皆様に寄り添った施策の在り方などの検討を進めてまいりたいと存じます。